

# 伊賀市上野西部 公民館だより



第 177 号

平成 30 年 3 月 15 日

編 集 発 行: 上野西部公民館

所 在 地: 伊賀市上野福居町

上野西部地区の人口 世帯数 1,496 人口 3,255 人(男 1,561・女 1,694) 職 30.2 末 現在

## 人 権 講 演 会 ————— 上野西部地区人権啓発草の根運動推進会議

2 月 3 日(土)人権講演会が上野西部地区市民センターで開催されました。



演題は『スマホで作る地域の絆』～大人から子どもへ送る言葉～講師は、いがまち同和教育研究会 ケータイ・スマホ部会推進委員の宮田茂光さんが担当され、地域から 40 名余りの方が参加されました。

講演はケータイとスマホの機能の違いから始まり、進化するスマホの利便性から、利用率が生徒の年齢と

ケータイ・スマホ所有率 2017内閣府調査			
	所有率	ケータイ	スマホ
小学生	50.4%	28.2%	27.0%
中学生	62.5%	14.2%	51.7%
高校生	96.5%	3.2%	94.8%
2014三重県教育委員会			
三重県内の高校生			99.1%

共に上昇。高校生は、ほとんどの生徒が利用しているデータが示されました。スマホでは、友人間での連絡や情報交換に LINE がコミュニケーションとして大変便利ですが、短文による連絡のため、思い込みや、言葉遣いから、行き違いが生じ、大きな問題や人権問題に発展する事があります。また個人情報についても十分な注意が必要です。この事を十分理解し 親子、家族間での スマホの使い方ルールを設け大人が子供を、まったく放任ではなく、なんでも禁止でもなく、見守る事が大切であると話されました。

## 城下町のおひなさん



恒例の伊賀上野・城下町のおひなさんが、2 月 17 日(土)～3 月 3 日(土)開催されました。市街地の上野中町通り各お店の店頭には、おひなさんが飾られ、行き交う人の目を楽しませます。沖森邸には、江戸時代からの由緒あるおひなさんが展示され、訪れた観光客には葛湯をいただきながらゆったりとした気分観賞。商店街では、観る、食べる、体験するをテーマにそれぞれ趣向を凝らした模様しが、開催されていました。

## お菓子作り体験

上野西部地区住民自治協議会  
健康・福祉・スポーツ部会



2月4日(日)和菓子作り教室が上野西部地区市民センターで開催されました。

健康・福祉・スポーツ部会では、例年『おたのしみ工作教室』が企画されています。今年は和菓子作り体験で、当日は幼児や小学生が、家族ともに応募、子供29名を含む54名が、参加しました。講師は上野東町 桔梗屋織居中村伊英さんが担当され、和菓子作りの技術

からへら切り技法 スプーン切り込み技法 布巾絞りの説明の後、指導を受けな

がら、和菓子作りに取り組みました。形を整え仕上げて行くには、柔らかで、繊細なタッチが必要で、親子互いに相談しながら、神妙な面持ちで作業を進めて行き、全員見事に完成。各テーブルには3種類の色とりどりの和菓子が並びました。



## 上野天神祭 お囃子体験会

教育委員会 文化財課



2月4日(日)上野天神祭お囃子体験会が開催されました。例年だんじり町持ち回りで実施され、今年は上野西町が担当、参加者は同集議所で、町の役員、囃子方から、摺り鉦、締太鼓を、手ほどきを受けながら体験しました。

だんじり町9町のお囃子は、それぞれ独自の曲を保有し、西町では6曲余のお囃子がありその中から2曲を体験しました。摺り鉦体験の

子供達は、戸惑いながらもすぐに慣れ上手に奏でるお囃子が集議所に響きました。

## ちぎり絵展 開催中

上野西部市民センターロビーで3月27日迄開催されています。



### おもがわ 往古川クリーン作戦

日 時 平成30年3月24日(土)午前9時00分

集合場所 上野西部地区市民センター

往古川の水をきれいにしよう会  
上野西部地区住民自治協議会

## 伊賀市立上野南中学校 総合学習

1月30日(火)伊賀市立上野南中学校1年生17名の上野天神祭【お囃子体験会】



が上野西部地区市民センターにて開催されました。南中学校では1年生総合学習の一環で『伊賀の伝統文化に学ぶ』を企画、伝統を受け継ぐ人たちから、文化的価値や伝統文化を継承する意義を深める。このテーマで、伊賀市内6カ所の博物館や会館、施設の見学体験の中にお囃子体験が含まれ、今回の開催となりました。上野天神祭の講演の後、お囃子体験には、小玉町・福居町・向島町の有志が対応し、摺り鉦 締太鼓と龍笛のお囃子がセンターに響きました。

## 連続講座 伊賀流自治研修会開催

伊賀流自治研修会が2月28日(水)ゆめぼりセンターで開催されました。『よりよい地域づくりを目指して』と題し、自治協活動の研修会で、今年度3回目となります。今回は①諏訪地区②猪田地区③壬生の地区④布引地区⑤博要地区、各住民自治協会からの活動内容が報告され、地域実情や進め方の質疑が行われました。



### 俳画サークル



### お知らせ

- 3月16日(金) 伊賀市立上野西小学校卒業式
- 3月24日(土) 往古川クリーン作戦
- 4月6日(金) 伊賀市立上野西小学校入学式
- 4月7日(土)~5月6日(日)

伊賀上野Ninja フェスタ開催

『火の用心 ことばを形に 習慣に』  
春の全国火災予防運動

# 煌星伊賀句会

選評 大野 利江

大琵琶に鴨縄張の水脈を曳く みお 辻野 和彦

琵琶湖に鴨がまつすぐに水脈を曳いてゆく。まるで自分の縄張を主張するように。この直線を縄張と見たところがすばらしい。

はかなきも煌めく強さ霧氷林 きら 天野 理江

はかなく消えてゆく霧氷であるが、その煌めきはかくも強いものがある。はかなきの中に強さを発見されたところが手柄。

残りるる空蝉雪を背負ひをり 河口 亨

夏の空蝉が雪を背負って転がっていた。雪を背負ひをりとは、人が負うべきものがこの世にあると言う事まで言っていて心に響く。

青銅の翼につらら国宝級 安屋 宣子

極寒日、テレビで報じられたが、池の青銅の鳥の翼につららがまるで羽の様に出来ていた。それを国宝級と詠われた。言い得て妙。

鴨一羽岸部をなぞり群を待つ 田畑 寛一

鴨が一羽だけとなり、岸部をゆく。このなぞると言う言葉が淋しさを表わす絶妙感が出ていて群を待つにその心がつづいて行く。



ちんまりとちぢこまりてや母の冬 中出 隆義

母上がちんまりとなられ、作者は淋しさと戸惑いを感じておられる。誰もが通らねばならぬ道である。親と子にある切なき時。

蹲踞にふくら雀の口並ぶ つくばい 川口 義和

神社やお寺の蹲踞にふくらした冬雀が並んでいる。ふくら雀・口並ぶが絶妙。春を待つ心とふくら雀の声が聞こえる。

見くらべて孫が欲しがる年の豆 炊 規夫

豆撒きの景、孫が「じいじは豆をいっぱいもらっていいな」と。じいじは豆をおすそ分け。二人の会話の弾むひととき。

雪吊の天突きさして緩みなし 富田 まり

北陸のあたりの景であろうか、美しい雪吊は緩むことが無い。それは天にまで突きさしているからと。直線の美しさが映える御句

獅子舞に雪の連れ舞激しかり 蔵本 稔恵

今年は風花の舞う日が数日あり、獅子と雪の連れ舞とは、まるで一幕の舞台のようで美しくも激しく、情景がはつきり見える御句